

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	10.0%	11.0%	110.0%	a	近美コレクション展、特別展、移動美術館、学校での鑑賞授業、館外貸出による活用点数は延べ573点。収蔵作品数5,218点に対する稼働率は11.02%となり、指標値どおり計画的にコレクションを活用できた。また、H29年購入作品についても、展示を行った。 特に館外貸出については、年度当初の予定数50点に対して実績数106点と大幅に上回るとともに、貸出先も北海道内はもとより、全国(東京、石川、岡山、広島ほか)や海外(フランス)におよぶなど、当館コレクションを広く知ってもらう機会となった。
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				a	寄贈により98点の作品を収集。そのうち32点は、当館の収集方針の軸のひとつ「北海道の美術」に、16点は「エコール・ド・パリ」に、17点は「ガラス工芸」に該当するものである。 以上のように、寄贈により、収集方針に基づいた主体的かつ積極的な収集活動を行うことができた。
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				b	収蔵庫及び展示室の温湿度等を随時調査し管理することにより、適正な保管環境を保持したほか、収蔵品の現物確認及びデータベース化を進めることができた。 また、野外彫刻の清掃など、作品状態の最適化に努めた。 その一方で、所蔵作品の修復や、老朽化する収蔵庫及び展示環境の改修については、工事期間における運営方法や所蔵作品の活用・保管方法なども含めた計画の検討を早急に進める必要がある。

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	コレクションの活用、充実、保管状況の適切化については、優れた成果を挙げる事ができた。その一方で、作品修復や施設改修など、未着手の課題も残されている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	50,000人	39,613人	79.2%	b	観覧者数については、昨年度よりも2割減じたが、観覧者の満足度、リピート率ともに、目標を達成することができた。 内容面においても、学芸員の研究成果を反映した特集展示「この1点を見てほしい。」や、道内コレクションとの連携を図ったアートギャラリー北海道「フランク・シャーマンコレクション」、(株)ニトリとの連携展覧会「ガラスと近代洋画の名品」、近美の名品によるテーマ展「きらめく都市のものがり」をなど、多彩な企画を実施することができた。
	常設展示観覧者の満足度	90.0%	88.3%	98.1%		
	常設展示のリピート率	70.0%	72.5%	103.6%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	300,000人	311,966人	104.0%	a	地震の影響で突発的な会期変更があったが、観覧者数、観覧者の満足度、リピート率ともに、概ね目標を達成することができた。 また、内容面においても、近美・三岸の2会場で、重要文化財4点を含む名品84点を紹介した「ブリヂストン美術館展」をはじめ、充実した企画を実施することができた。
	特別展示観覧者の満足度	90.0%	88.5%	98.3%		
	特別展示のリピート率	70.0%	72.9%	104.1%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				b	「ブリヂストン美術館展」「極と匠 京のかがやき」など放送局・新聞社と共同で展覧会を開催することにより、広範な展覧会広報活動を展開することができた。「深井克美展」では、テレビ広告のほか、積極的に新聞、テレビへの広報活動を行った。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				a	「みんなのアート1,2,3」では、誰もがアートに親しめるように、多言語標記による解説パネルや一部触覚による鑑賞を加えるなど展示構成に工夫をこらすとともに、和英のパネルを設置し好評を得た。満足度の数値やアンケートの記述内容によると、いずれの展覧会においても、ほぼねらいどおりの効果を得ることができた。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	95.0%	92.8%	97.7%	a	移動美術館については、占冠村(10/4~10)及び美深町(10/13~17)の2会場において実施し、あわせて850名の来場者を得るなど、当館から遠隔地域の道民に作品鑑賞の機会を提供することができた。 また、館外展示は、知事室や知事公館などに6点を展示した。
	その他の館外展示の状況					

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	常設展示および特別展示の充実、入館者の拡充、展示状況、館外展示の充実のいずれの観点においても、目標を達成することができた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	550回	654回	118.9%	a	教育普及プログラムの実施数、参加者数、満足度はいずれも高く、年度当初計画を超える成果を上げることが出来た。特別展に関連した事業では、多彩なプログラムを実施し、充実を図ることができた。
	教育普及プログラムの参加者数	7,000人	9,038人	129.1%		
	教育普及プログラムの満足度	100%	99.3%	99.3%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	11,000人	9,030人	82.1%	b	美術情報の提供を行うARSの利用者の満足度は高かった。HPアクセス回数やソーシャルメディアの投稿数は指標値を達成し、年度当初の計画どおりに行うことができた。道立図書館と連携し、展覧会に関連する道立図書館所蔵資料(図書)を展示室出口に配置する新たな取組を行った。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	65.0%	67.0%	103.1%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	364,000件	392,701件	107.9%		
	メールマガジン等発行回数	6回	6回	100.0%		
	ソーシャルメディアの投稿数	125回	146回	116.8%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 Cの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	学習の場と美術情報の提供について、概ね年度当初計画どおりに実施できた。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
調査・研究の充実度	学芸員による調査報告	/	/	/	b	<p>学芸員の調査研究は美学・美術史・美術館学・美術館教育等を基盤に、コレクションや展覧会、美術館活動等に関して、美術作品や美術作家、関連分野等の研究をはじめ、それぞれの業務進捗に応じて必要な課題やテーマを持って適宜にまた継続的に取り組んでいる。</p> <p>調査研究の成果は研究紀要や展覧会図録での論考や各種解説、新聞等への寄稿などのほか、館内外での講座・講演・トーク・展示解説等での発表を行うとともに、利用者・研究者等からの専門的照会にも対応した。</p> <p>近美コレクションにおける「この一点を見てほしい。」や「みんなのアート1, 2, 3」の展示をはじめ、所蔵品や展覧会出品作に関する研究を、各コレクション展・特別展の展示構成、作品解説等に反映させ、展示内容の充実に資した。今年度は三岸好太郎美術館の展覧会にも当館担当が関わり、調査研究の対象を広げることとなった。また、作品収蔵に関連する調査として、充実した西洋版画コレクションの収集受入れ予定に際しての対象作家と版画分野の重点的な調査を続けている。</p> <p>図書、文献、各種刊行物その他の二次資料に関しては、国内外美術館等の相互の資料交換を継続的に行い、多分野にわたる資料を受け入れて学芸員の調査研究に活用している。</p> <p>その他、研究の蓄積と知見を活かして、外部機関の委員や非常勤講師等の社会貢献活動も各機関からの依頼に応じて行った。</p>
	二次資料の状況	/	/	/		

【基本的運営方針】 D の評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	美術館活動と結びついた調査研究を進展させ、その成果を各種の活動、業務に反映させている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	2,000人	2,116人	105.8%	a	ボランティア団体による、ギャラリー・ツアー、アート・レファレンス・サービス(質問、映像利用)、美術鑑賞講座、美術講座プレミアム、ジュニア・アートクラブ、美術への誘い、など、館内外における多角的な事業が実施され、それらに対して、随時、適切な協力、助言を行うことが出来た。参加者数も目標を達成できた。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	3校	3校	100.0%	c	学校教育との連携全般では、実施内容について、概ね年度当初の計画どおりに実施することができた。 出張アート教室は、今年度、宗谷管内(旭川美術館担当)など遠隔地での開催に重点を置いたため、石狩管内(近代美術館担当)での開催が2校となり、実績値は減ることとなったが、全道では8校で開催しており、出張アート教室の目的は十分に果たすことができた。
	出張アート教室の延べ参加者数	300人	44人	14.7%		
	指導者研修の延べ参加者数	7人	4人	57.1%		
	学校教育活動への対応数	32件	25件	78.1%		
	参加者・利用者満足度					

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	関係機関(ボランティア、協力会)、学校ともに、年度当初計画どおりに連携を図ることが出来た。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
附帯施設の充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	80.0%	58.7%	73.4%	c	レストラン事業者(外部委託)やミュージアムショップ(ボランティア団体)と連携し、展覧会のテーマに沿ったメニューの提供やグッズ販売を行っている。アンケートではレストランメニューについての意見が多数あるが、施設の制約や事業者の体制などの課題がある。
	ミュージアムショップ利用者満足度	80.0%	66.4%	83.0%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	80.0%	75.8%	94.8%	b	アンケートにおいて満足度は高い状況である。9月の災害により開催期間が短くなった展覧会では、休館日(月曜日)に開館するなど、来館者へ観賞の機会を確保する取り組みを行った。
	ホスピタリティ向上に向けた取組み					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度	80.0%	75.7%	94.6%	b	9月の台風では、西側入り口において倒木があったが、造園業者及び当館職員と協力し、倒木及び歩道に落ちた枝の撤去を行い、開館に影響がないよう努めた。また、これまで使用していた対応マニュアルでは、災害(台風及び地震等)への対応に苦慮したこともあり、この度の災害対応を踏まえ、新たに危機管理マニュアル(仮称)の作成に着手した。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 Fの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	来館者アンケートをレストラン事業者(外部委託)、ミュージアムショップ(ボランティア団体)及び美術館職員で共有するとともに、連携を密にしながら運営の改善・充実に努めている。施設環境の保全是、施設の老朽化(開館から40年)が課題となっているが、展覧会の実施に支障がないよう随時点検を行い、必要な修繕に努めている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E